

2019年9月期(FY2019)
第2四半期
決算説明会資料

人と企業の笑顔が見たい



株式会社IJS-IJS

証券コード:6554

■ 対前年同期差 大幅増収増益

- 売上高 : 559百万円増(16.7%増)
- 営業利益 : 71百万円増(29.7%増)
- 経常利益 : 74百万円増(30.0%増)
- 四半期純利益 : 54百万円増(37.6%増)

■ 上期業績予想を上方修正

*** 通期業績予想は据え置き**

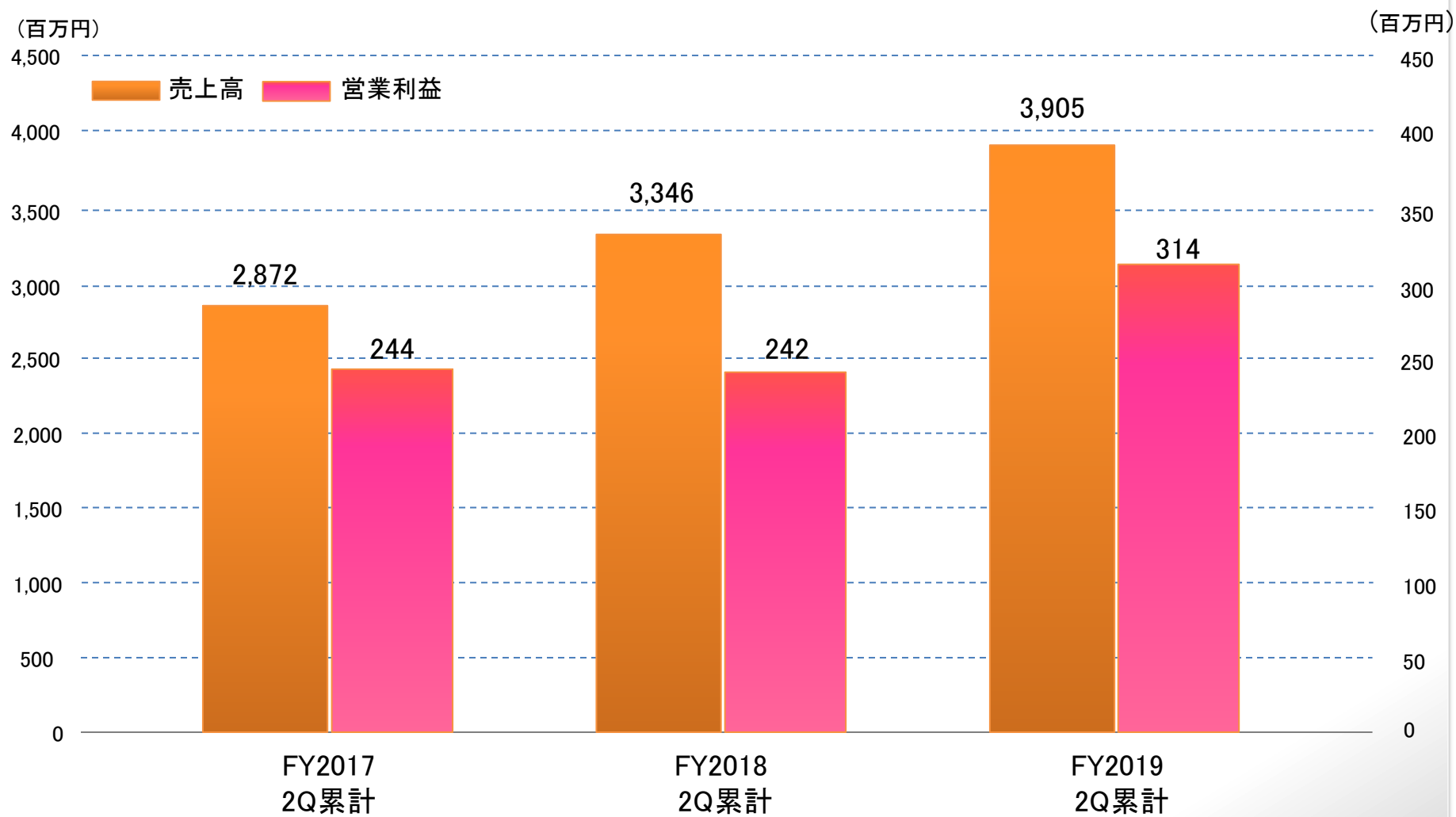
I. 2019年9月期 第2四半期決算概要

- 主力の技術者派遣事業が大幅増収増益を牽引
- 販売費及び一般管理費増加も、これを吸収し増益

単位：百万円

	FY2018 2Q累計	FY2019 2Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	3,346	3,905	559	16.7%	技術者派遣事業：対前年同期差 484百万円増 コンサル事業：対前年同期差 44百万円増 その他：対前年同期差 30百万円増
売上総利益 (売上高比率)	892 (26.7%)	1,079 (27.6%)	187 (+0.9P)	21.0%	派遣単価アップ及び稼働時間増加により 利益増加・利益率改善
販売費及び 一般管理費	650	765	115	17.7%	採用強化に伴い人件費を中心に増加
営業利益 (売上高比率)	242 (7.2%)	314 (8.0%)	71	29.7%	
経常利益 (売上高比率)	247 (7.4%)	321 (8.2%)	74	30.0%	
四半期純利益 (売上高比率)	144 (4.3%)	198 (5.1%)	54	37.6%	

※比率は千円単位の金額をもとに算出。



- ライン部門を中心とした採用強化等によって人件費が増加
- 人事制度設計に関する業務委託費が増加

単位:百万円

	FY2018 2Q累計	FY2019 2Q累計	増減	増減率	増減要因
人件費	363	423	60	16.5%	ライン部門の人員強化等
採用広告費	77	89	12	15.6%	新卒採用広告 7百万円増 中途採用広告 3百万円増
賃貸料	46	53	7	16.0%	大宮オフィス開設 京都本社増床
業務委託費	18	33	15	84.1%	人事制度設計費用等
支払手数料	27	31	3	12.7%	
その他	117	134	16	14.2%	通信費 7百万円増
計	650	765	115	17.7%	

※比率は千円単位の金額をもとに算出。

- 技術者派遣事業： IT分野中心に派遣単価上昇
技術社員増加による増収
- その他： 就労移行支援事業が黒字化
SUZAKU販売に伴う増収

単位：百万円

	FY2018 2Q累計	FY2019 2Q累計	増減	増減率
売上高	3,346	3,905	559	16.7%
技術者派遣事業	3,142	3,626	484	15.4%
コンサルティング事業	188	232	44	23.5%
その他(「SUZAKU」販売、 就労移行支援事業 等)	16	46	30	184.1%
セグメント利益 (本社費配賦後)	242	314	71	29.7%
技術者派遣事業	230	300	69	30.4%
コンサルティング事業	18	22	4	24.3%
その他(「SUZAKU」販売、 就労移行支援事業 等)	△5	△8	△2	-%

※比率は千円単位の金額をもとに算出。

- 四半期純利益計上による純資産の増加
- 借入金返済による負債の減少

単位：百万円

	FY2018 期末	FY2019 2Q期末	増減	増減率	要因
流動資産	3,221	3,245	23	0.7%	
現金及び預金	2,317	2,262	△55	△2.4%	連結キャッシュフロー状況参照
売上債権	849	922	72	8.5%	
固定資産	234	262	27	11.9%	繰延税金資産の計上等
資産合計	3,456	3,508	51	1.5%	
流動負債	1,545	1,411	△133	△8.6%	
短期借入金(※)	390	260	△129	△33.3%	短期借入金の返済
未払金	595	612	17	3.0%	
固定負債	60	45	△15	△25.7%	長期借入金の返済
純資産	1,851	2,051	200	10.8%	四半期純利益計上
負債純資産合計	3,456	3,508	51	1.5%	

※1年以内返済予定長期借入金含む。

※比率は千円単位の金額をもとに算出。

自己資本比率	53.2%	58.1%	4.9p
---------------	-------	-------	------

単位：百万円

	FY2018 2Q累計	FY2019 2Q累計	主な要因
営業キャッシュフロー	148	118	税金等調整前四半期純利益 319百万円 賞与引当金の増加 34百万円 売上債権の増加 △72百万円 法人税等の支払 △172百万円
投資キャッシュフロー	△2	△30	有形及び無形固定資産の 取得による減少 △25百万円
財務キャッシュフロー	△112	△143	短期及び長期借入金の返済 △144百万円
キャッシュ増減	33	△55	
キャッシュ期末残高	1,336	2,124	

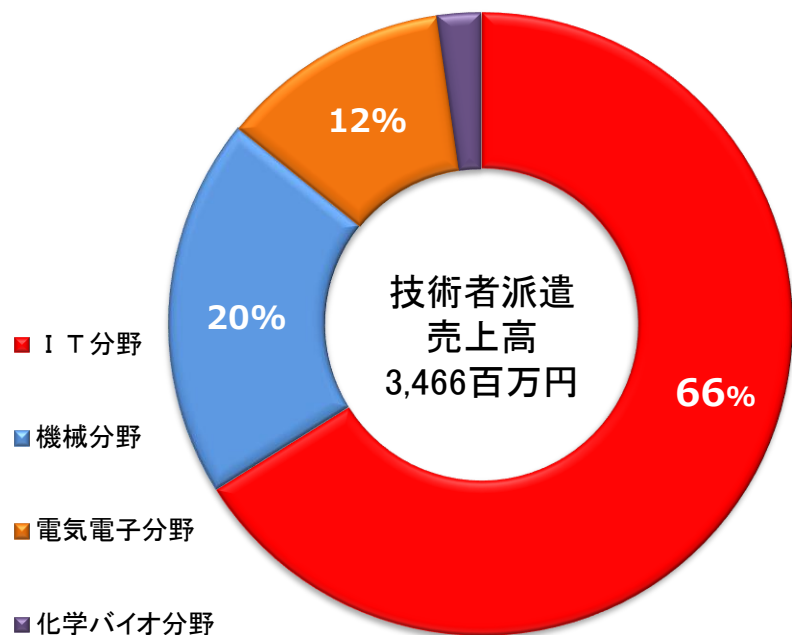
Ⅱ. 今期重要施策の進捗状況

➤ 最先端技術分野・成長産業分野へのシフト強化

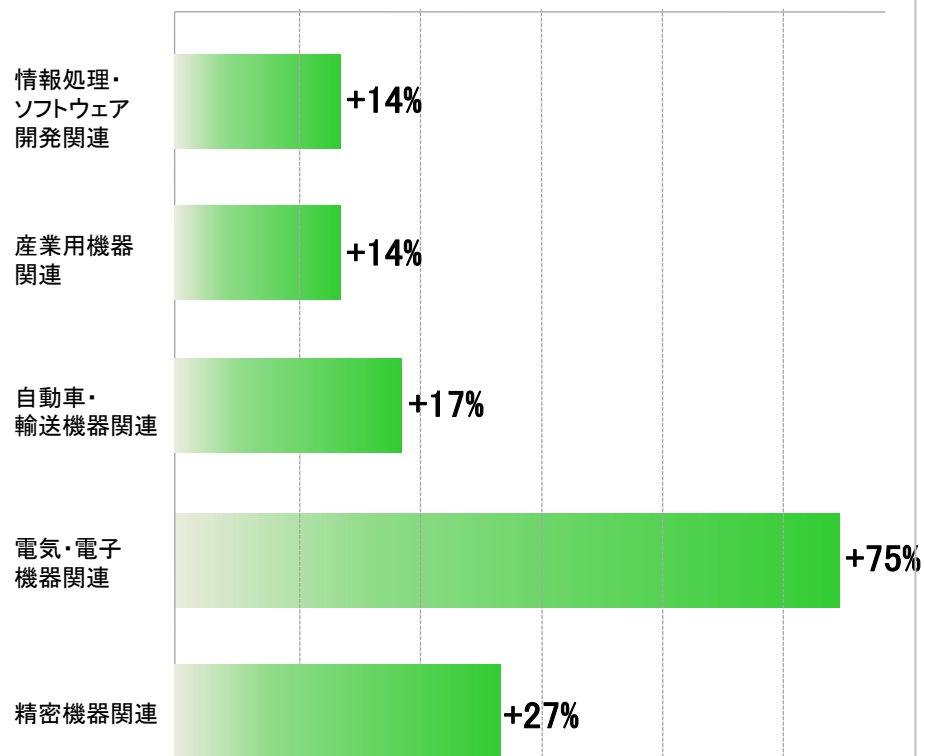
AI、IoT、VR含むIT分野及び自動車関連等の技術領域でも着実に成長
(平均派遣単価は前年同期比9.8%上昇)

➤ 拠点展開による売上高拡大: 大宮オフィス開設(2019年1月)

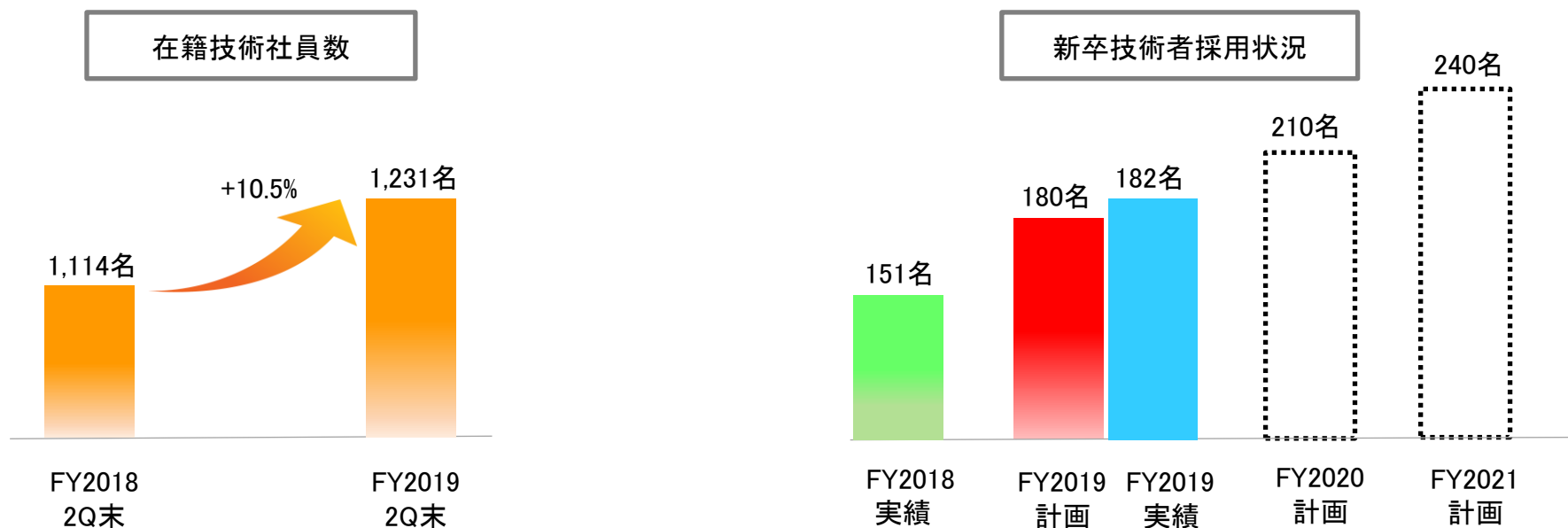
＜技術社員職種別売上高構成＞



＜主要派遣先業種別売上高 対前年同期比＞



- ブランディングに基づくプロモーション、採用チャネルの多様化による採用強化
 新卒技術者については、計画を上回る182名の採用が決定



- 管理部門強化による経営力の向上

- 経営企画部門中心に積極採用実施

⇒ 下期以降も人事・総務・経理部門において幹部クラスを積極採用推進

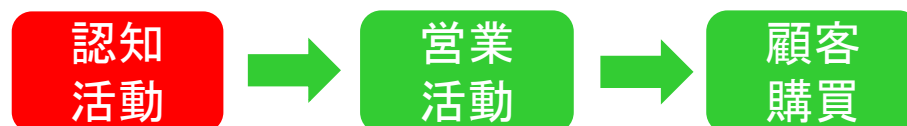
- 成長を支える組織改革及び人事制度改革を推進

➤ 事業創出による新しい収益基盤の確立

- HAIQ事業(AIを用いた採用マッチングソリューション「SUZAKU」の販売)
 - ・年間受注獲得計画63社に対して、2Q累計実績は3社と低調

[今後の注力ポイント]

- ・商品認知活動の重点強化
(各種展示会出展・セミナー開催・WEB広告等)



- ・導入先企業の要望を反映した商品改良
- ・営業活動ノウハウの蓄積
- 他社とのアライアンスによる事業展開
 - ・VR(仮想現実)、AR(拡張現実)領域におけるクリエイター・エンジニア育成及びコンテンツ制作販売事業への参入検討



技術者派遣事業における採用力向上と最先端技術力育成への貢献を見込む

免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、株式会社エスユーエス(以下、「当社」という。)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。